

# 金山町 議会だより

第199号

平成29年11月7日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



10月5日に行なわれた「(仮称)本名トンネル着工式」  
全長1400メートルのトンネル。平成30年代前半の開通を目指す

〔9月定例会のあらまし 会期／9月8日～13日〕

(ページ)

9月定例会 平成28年度決算を認定。町長の減給を否決 … 2～6

一般質問に7人登壇 …………… 7～13

常任委員会の管外視察報告…………… 14～15

# 9月定例会

## 決算を認定

9月定例会は、9月8日から13日にかけて開催されました。平成28年度決算認定のほか11議案と、報告2件、議員提出議案2件が提案され、町長の給与を20%（1カ月）減額する条例を除き、原案の通り認定・可決・同意されました。一般質問には7人の議員が登壇し、町政をたどしました。

## 決算（議案審議）

### 歳入

#### 滞納対策 特別チームで 40万実績

**問** 町民税の収入未済現年度分49万円、滞納繰越分72万9000円、固定資産税についても、滞納の徴収対策、具体的にどうされているのか。

**答** 住民課長 税務職員

による電話での催告、戸別訪問を行っています。また預金調査、給与調査、所在実情調査、差し押さえも行っています。特に、昨年度の取り組みとして、県の会津地域地方税滞納整理機構の特別滞納整理チームに加入して、滞納に対する取り組みを進めてきたという点が挙げられます。

**問** 会津地域地方税滞納整理機構という文言が出てきました。この機構を通してどのような徴収運動等が行われたのか、詳しく教えてください。

**答** 住民課長 平成28年度の実績ですが、244万円ほどの滞納額について、整理機構で関わりました。対象者は6名あり、滞納整理チームの実績が40万8000円です。効果、徴収率に直すと16・7%という実績です。

#### 観光施設の 利用状況は 美術館2242人

**問** 生活体験館、自然教育村会館、若者交流センター、美術館、これらの利用実績と利用者数、利用者を増やすために具体的にどういうことをされたのか、教えてください。

**答** 復興観光課長 生活

体験館、延べ407人。自然教育村会館、延べ114人。若者交流センター、延べ1255人。美術館、2242人です。来ていただく人を増やすための具体策は、定期的なイベント開催、PR、モニターツアーを実施しています。

### 歳出

#### 大塩炭酸水整備 効果が出ていない

**問** 大塩炭酸水整備、その内容と結果、それをお聞かせください。

**答** 復興観光課長 54

0万の前身ですが、大塩の炭酸井戸の掘削を行いました。今のところ飲めるような水質ではないのですが、今後、水を流し続ける試験をして水質を安定させてから、今後の活用を検討したいと思っています。

**問** 28年度せっかくこれだけかけて実施して、その対策について29年度、全く予算化もされない。全く矛盾した考えです。これだけの金額をかけて井戸を掘ったわけですから、1カ月でも2カ月でも、地下水ですから、継続して水を出して水質を確かめるのがこの事業の前身だったのでないか。それをしないので現在試験をして、水がどうのこうのといっても、この事業の効果ではないはず

です。その後の事業を見据えて、取り組んでいただきたい。せっかくあれだけの事業費を使っても生きてこない。

**答** 復興観光課長 ご指

### 特別会計

#### 町営バスの収入 105万円

**問** 実際に町の補助でなく、町民から直接いただいている金額は大体お幾らぐらいなのか、わかれば教えてください。

**答** 総務課長 105万

4000円が実際の収入となっています。（シルバー券の補助約9万6000円、保育所・小中学生に対する定期は全額補助）

#### 川口下水道の収支 加入者増やさない

**問** 収入済額399万9

510円ですが、加入件数と今後の見通しは。

**答** 建設課長 56戸で利



大塩炭酸水整備事業を確認する監査委員



# 平成28年度決算審査意見

用人口が293人です。今後の利用状況ですが、ある程度、町の公共施設はつながりました。一般世帯でもつなぎ込みを希望される方はほとんど終わりました。残っているのが高齢住宅と、単独浄化槽をお持ちの方が十数件あります。

8月18日から4日間行われた、決算審査における監査委員の意見を要約してお知らせします。

当初、事業計画されたときの収支という部分を考えて、「大きな町としての負担は出ない」という事業であったかと思えます。しかし、このままいくと、3000万からの毎年持ち出しになりますが、これは想定済みですか。

## 原因は何 憤りを覚える

事務処理の怠慢から、「減給処分」を受け、新聞報道されるなど、金山町役場の信頼を失墜させる事態が発生したことに監査委員としては、こうした事態に「深く憂慮の念」を抱いているところです。昨年の「意見」でも申し上げた「職員同士の意思の疎通（情報の共有）」が、できていなかったことに憤りさえ覚えます。今回の事態を招いた原因が何であったのか、十分検証することを望みます。

## 補助金 何のために交付

補助金交付においては、「この補助金は何を目的して交付し、町民の福祉向上に確実に寄与しているか、何時でも誰に対しても説明責任を果たせるように」補助金が最大限活かされるよう補助団体の動向を注視し、事業執行中であっても適切な指導を行うなど補助金の効果が最大限発揮できる指導体制を

「減給処分」を受け、新聞報道されるなど、金山町役場の信頼を失墜させる事態が発生したことに監査委員としては、こうした事態に「深く憂慮の念」を抱いているところです。昨年の「意見」でも申し上げた「職員同士の意思の疎通（情報の共有）」が、できていなかったことに憤りさえ覚えます。今回の事態を招いた原因が何であったのか、十分検証することを望みます。

## 滞納対策 県の力も借りて

町外在住者及び新規滞納者への収納対策が停滞しているように見受けられ

町外在住者及び新規滞納者への収納対策が停滞しているように見受けられ

作っていただきたい。利用する・しない 適切な判断を

利用実績の少ない施設等が散見されます。また、交流人口の拡大に向けた「炭酸水や自然景観の整備等」が疎かになっているよう

## 行政運営は 進捗管理が重要

最後に、町民が望む「住んで良かったと思われ

にも感じます。利用計画（活用の有無）を明確にして適切な判断により対応いただきたい。

## 平成28年度 一般会計及び特別会計の決算

| 会 計 名           | 歳 入        | 歳 出        |
|-----------------|------------|------------|
| 一般会計            | 33億9,512万円 | 31億8,789万円 |
| 国民健康保険事業勘定（医療費） | 4億1,462万円  | 3億5,397万円  |
| 国民健康保険事業勘定（診療所） | 1億3,451万円  | 1億3,451万円  |
| 簡易水道事業          | 2億4,693万円  | 2億3,299万円  |
| 町営バス事業          | 1,409万円    | 1,409万円    |
| 農業集落排水事業        | 374万円      | 374万円      |
| 介護保険            | 5億3,353万円  | 5億1,711万円  |
| 特定地域生活排水処理事業    | 1億7,548万円  | 1億7,548万円  |
| 後期高齢者医療         | 4,488万円    | 4,481万円    |
| 特定環境保全公共下水道事業   | 3,494万円    | 3,494万円    |

## 主な投資的事業費

- 保養センター改築事業 ..... 1億3,863万円
- 町営住宅建設事業 ..... 3,693万円
- ラジオ中継局建設事業 ..... 3,529万円
- スキー場リフト整備事業 ..... 1,927万円
- 福祉バス購入事業 ..... 950万円

## 実質公債費 比率の推移

平成28年度 3.2

|      |     |
|------|-----|
| 27年度 | 2.9 |
| 26年度 | 3.5 |
| 25年度 | 4.4 |

借金返済額の比率です

金山町」を築いていくためには、各種事務事業の「適切な進捗管理」が必要です。「適切な進捗管理」ができる体制での行政運営を切に望みます。



賛成3 反対6 で、否決になった「町長給与の減額条例案」の採決の様子

# 条例案否決

## 町長の給与20%減(一ヶ月)

9月定例会では、町長の給与を20%一ヶ月削減する条例改正案が提案されましたが、賛成少数で、否決されました。町長は、提案理由で「私が町長となり早3年となりますが、相次いで職員の不祥事が発生したことは、町民に多大な迷惑をかけると共に町行政に対する信頼を大きく損ない、ひいては施策の遂行にも支障が生じかねない、極めて深刻な事態と認識しております。綱紀粛正の徹底と不祥事の根絶に向けて取り組んで行く所存ではありますが、私の管理監督が行き届かなかつた故でありますので、その責任を明らかにするものであります」と説明されました。

### 職員の 処分内容は

**問** 今回の職員の不祥事で、職員を処分したと思いますが、それぞれどういった職員の方をどのような処分にしたのか伺います。

**答** 総務課長 (職員) 減給10分の一、1カ月及びその上司2名は口頭での厳重注意ということです。

**問** 今回対象となる職員それぞれ3名のどういった区分(金山町職員の懲戒処分の基準等に関する規定)、事件内容でそれぞれ減給あるいは口頭処分をされたのか伺います。

**答** 総務課長 一般服務規程、不適正な事務処理ということ、処分の基準と

しては、「減給又は戒告」を適用させています。その上司については、今までの例に従い、処分の内容に沿い、処分したものです。

**問** 商品券を紛失してしまつたということであつて、「公金公有物取扱い関係の紛失」に当たり、公金又は公有物を紛失した職員は、「戒告」に当たるのではないかと思います。この点についてどうなのか伺います。

**答** 総務課長 懲罰等委員会で検討しましたが、町の基準と照らし合わせ総合的に判断して、「減給」が適切と判断しました。今回の公金公有物に関しては、公有物の紛失ではありますが、不適切な事務処理

と懲罰委員会では判断したものです。

### なぜ町長が 責任取る

**問** なぜ町長が減給するのか、その理由について教えてください。

**答** 町長 職員の不祥事、特に町民に対してご迷惑をおかけしたということについては、職員の不祥事

は当然のことながら、最高責任者である私にあると考えています。責任の所在をまず明らかにすること。自分にとつてもやはり課すべきではないかと判断をさせていただきました。

**問** 町長にばかり責任を持たせるんじゃない。「私が責任を持つ」、そのくらの課長の意気込みじゃないと、絶対職員なんて育つわけがない。

**答** 副町長 行政を推進していくに当たつて、町民の皆さんとの信頼関係、これがまことに一番大事な要素だと考えています。こういった不祥事が起きないよう、まさしく職場も緊張感を持って、見直すところは見直して、しっかりと邁進していきます。

### ■反対討論 高橋信彦議員

職員の不祥事の責任を取ると言う意志は尊重出来るが、その方法として僅か一ヶ月、20%の給与の減額により、町長自身が「これで責任は取った」と、勘違いをされる様なやり方は容認できない。町長が取るべき責任は、「再発防止策」の構築と、今後はよりスムーズな町政を実行する事が望ましい責任の取り方である。



# 9月補正（議案審議）

## 一般会計

### 森林計画に二千万 しっかりと 勉強したい

**問** イオン環境財団から寄附をいただいて、1000万ほどの金額に基づいて、事業を行うための調査を、民間業者に委託するわけですが、それ以降の具体的な絵について、分かれは示していただきたい。

**答** 町長 町としては、こ



議長から、表彰状の伝達を受ける五ノ井議員

## 両沼地方町村議会議長会表彰 五ノ井議員が受賞

この度、両沼地方町村議会議長会から五ノ井義一議員が功労者として表彰されました。五ノ井議員は議会議員在職10年以上、地方自治の振興発展に尽力されてきた功績によるものです。

## 国保会計

### 国保加入者の 歯周病検診

**問** 歯周病健診というこ

れを絶好の機会と捉え、こういう専門家と話をすることによって、林業に対する考え方も変わってくるでしょうし、どうしたらいいのかということがしっかりと勉強できると思いますので、絶好の機会だと考えています。

とが生まれて、30、40と、ちょっと聞き漏らしたんですけれども、50歳まで入るのかどうか。61名ということなんです。これは大いに結構だとは思いますが、最近、歯周病が云々という病気も今多く言われるようになってきましたので、いいことかと思いますけれども、一般の方々が自主的に受診をしたいという場合には、どうでしょうか。

**答** 住民課長 ご指摘のとおり、今回のこの補正に係る分は国保の被保険者、それも年齢が40、50、60、70という方々に限るといったものです。該当しない方々の分は見えておりません。もし、仮に今回該当しない方々がこういった健診を受けたいということであれば、個人的に診療所に申し込みいただいで、自己負担でやっていただく形になります。

## 人事

### 金山町教育委員会委員

9月定例会で、教育委員会委員の任命に同意しました。

山口 京子（板下・65歳） 再任  
大竹 勤（大志・49歳） 新任

任期は、10月1日から、山口氏が3年間で、大竹氏が4年間です。

## 「全国森林環境税」の創設に関する意見書

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

### 提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣

## 意見書の提出

9月定例会に議員提出議案として提案し可決した意見書の一部をお知らせします。

臨時会では、除雪ドーザーの購入契約など3件が審議され可決されました。（次ページの議案等の審議結果一覧参照）

## 7月13日 第4回臨時会

## ■ 議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）  
 ※賛成「○」 反対「×」

| 件名                                       | 議決結果 | 栗城康太郎              | 青柳ヨシ子 | 加藤賢享 | 黒川廣志 | 奥高伸 | 横田正敏 | 高橋信彦 | 五ノ井義一 | 馬場清次 |
|------------------------------------------|------|--------------------|-------|------|------|-----|------|------|-------|------|
| ■ 第4回臨時会 平成29年7月13日開催                    |      |                    |       |      |      |     |      |      |       |      |
| 財産の取得について<br>(乗合タクシー用のワゴン車2台購入)          | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 財産の取得について<br>(除雪ドーザ11t級1台購入)             | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 財産の取得について<br>(スクールバス45人乗り1台購入)           | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| ■ 第5回定例会（9月定例会） 平成29年9月開催                |      |                    |       |      |      |     |      |      |       |      |
| 専決処分に関する承認について<br>(29年7月豪雨災害に係る一般会計補正予算) | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 決算の認定について                                | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 金山町長等の給与及びその他の給付に関する条例の一部改正について          | 否決   | ×                  | ○     | ×    | ○    | ×   | ×    | ×    | ×     | ○    |
| 金山町税条例の一部改正について                          | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 平成29年度金山町一般会計補正予算(第3号)                   | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 平成29年度金山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)             | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 平成29年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)             | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 平成29年度金山町介護保険特別会計補正予算(第2号)               | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 平成29年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)       | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 平成29年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)      | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 金山町教育委員会委員の任命に関する同意について(山口京子氏)           | 可決   | 投票による採決(賛成9票・反対0票) |       |      |      |     |      |      |       |      |
| 金山町教育委員会委員の任命に関する同意について(大竹勤氏)            | 可決   | 投票による採決(賛成9票・反対0票) |       |      |      |     |      |      |       |      |
| ■ 陳情(9月定例会で採択されました)                      |      |                    |       |      |      |     |      |      |       |      |
| 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情              | 採択   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 2018年度<br>地方財政確立に向けた意見書提出の陳情             | 採択   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| ■ 議員提出議案(9月定例会で可決され関係機関に送付しました)          |      |                    |       |      |      |     |      |      |       |      |
| 「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について               | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について                 | 可決   | ○                  | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     | ○    |
| ■ 報告(9月定例会で報告されました)                      |      |                    |       |      |      |     |      |      |       |      |
| 地方公共団体の財政の健全化に関する比率の報告について               |      |                    |       |      |      |     |      |      |       |      |
| 株式会社社会津かねやま経営状況報告について                    |      |                    |       |      |      |     |      |      |       |      |



ヒメマスの遡上を見学する  
「只見線応援バスツアー」の皆さん

## 黒川廣志議員の 一般質問



# 『二地域居住体験館（碧山荘）の利活用は』

## 引き続き移住促進に使っていく

**問** 「NPO法人奥会津金山あそびのがっこう」が運営していた二地域居住体験館（碧山荘）はオープン後七年経過した。以下伺う。

**問①** 一千七百万円の補助金で整備し、事業を行ってきたが、その成果は。

**答 町長** この施設を利用された後、町内に移住された方々もいらつしやることから、移住の促進に効

果があったと考えています。

**問②** 所有者は誰か。

**答 町長** 建物の権利者は私個人ですが、補助申請に当たってはNPO法人奥会津金山あそびのがっこうが事業主体として申請をしました。採択後、賃貸借契約を取り交わし、平成29年5月の総会に至るまで事業を行ってきました。県の補助金の条件として、当該施設を7年間は二

地域居住の用途とするこ

とになっていましたが、今年

1月に7年が経過したことから、用途の制限がなく

なり、私と当該NPO法人間の賃貸借契約を終了しています。

**問③** これからの利活用策は。

**答 町長** 私が所有する施設であることから、今後

も引き続き、移住や二地域居住を希望する方の宿泊

や、地元の方のコミュニティ

ーの場として活用したいと考えています。

**問④** 「あそびのがっこう」は平成15年に青少年の健全育成、地域振興を目的に設立されてから総額二千三百万円の補助金で数々の事業を行ってきた。第一線を解かれたと聞くが、今後の町づくりはどう生かされるか。

**答 町長** 行政ではなし

得ないことをやるのがNPO法人であります。そう

いう観点から様々な事業を行ってきました。地域の活性化に寄与したいという考えでありました。その

ときの気持ちと今の気持ちとは、全く変わるものではありません。今は行政の長としての立場で、この町づくりをどうやっていくか、それを真剣に考えているところです。NPO法人の存在は決して無駄ではなく、これはあるべき団体だと思っています。

## 『沼沢湖のヒメマス活用について』

## さお釣りが鮮度保持に最適

**問** 昨年四月禁漁が解除され、一年余が経過した。以下伺う。

**問①** 「沼沢湖のヒメマスを考える会」の活動実績は。

**答 町長** 4月に総会を行い、5月の稚魚放流のため前ノ沢沿川の草刈り作業を実施しました。

**問②** 漁法、保存方法の検討結果は。

**答 町長** これまでは、さお釣りと刺し網漁で採捕してきましたが、さお釣りが鮮度保持という点で最も最適な方法との考えに至りました。保存方法の検討については、急速冷凍庫

による保存が最適との検討結果から、昨年度末に購入し、漁協へ貸し付けを行

っているところです。

**問③** 昨年度と本年度の入漁者数と漁獲量は。

**答 町長** 昨年度の日釣り券の購入者964人、年釣り券の購入者55人とな

っています。漁獲量等については、つかんでいません。

**問④** 刺し網漁の再開を希望する会員がいると聞く。また、遊漁券の販売店を縮小したが、把握しているか。

**答 産業課長** 聞いていません。





会津川口駅から只見線に乗り込む  
「只見線応援バスツアー」の皆さん

## 栗城康太郎議員の 一般質問



# 『金山町総合戦略について』

## それぞれ検討している

問Ⅰ 自然教育村の再構築事業について伺う。金山町総合戦略では自然教育村の再構築事業について『体験・観光による交流人口の増加を目指し、そのための受入体制整備を行う』としています。

児童の受け入れに当たっては、山村体験などの体験学習を念頭に置き、中学生以上の生徒、学生の受け入れに当たっては、スポーツ部や文化部などの合宿を念頭に置くべきであると考えています。

Ⅰルを定めた住宅宿泊事業法、いわゆる民泊新法が、来年6月から施行されると聞いています。宿泊施設不足に対応するため、今後民泊の開業に伴う手続き支援や施設整備費用への補助など、町としてどのような支援ができるのか検討したいと考えています。

た産業育成事業について伺う。

行きたいと考えています。

問② 宿泊施設不足に対する対策については。

民泊の営業ル

問Ⅱ 地域資源を活かし

た産業育成事業について伺う。

問② 移住者が生産した奥会津金山赤力ボチャ・エゴマ等、特産農産物を一定期間全量買い上げることにしています。

問① 受入体制整備の際に想定する受入対象については。

問② 宿泊施設不足に対する対策については。

問Ⅱ 地域資源を活かし

た産業育成事業について伺う。

問② 移住者が生産した奥会津金山赤力ボチャ・エゴマ等、特産農産物を一定期間全量買い上げることにしています。

答 町長 小学生以下の

答 町長 民泊の営業ル

問Ⅱ 地域資源を活かし

た産業育成事業について伺う。

問② 移住者が生産した奥会津金山赤力ボチャ・エゴマ等、特産農産物を一定期間全量買い上げることにしています。

# 『只見線の利活用について』

## 覚悟を持って取組む

問 運行再開後、「上下分離方式」で多額の費用負担をする沿線自治体にとって、乗客を増やし、地域にぎわいをつくり出すことが大きな課題だと思ふ。

線を活用した振興策の検証や、沿線地域の目指すべき姿の検討、企業版ふるさと納税制度導入の検討などを鋭意行っています。

しを行っています。そのため、只見線の再開通が予定されている2021年度を目指して、只見線を活用するという視点に立って、「実施計画」を見直していきたいと考えています。

答 町長 只見線が寸断され再開通までの10年間で、本間に不幸な出来事でしたが、これを不幸な出来事と捉えるのではなく、只見線を再認識すること、金山町の町づくりを具体的に考えるチャンスを与えていただいたという点で私は、「災い転じて福だ」と思っています。そんな覚悟で取り組む所存です。

問① 県が進める「只見線利活用計画」策定の進捗状況は。

問② 町独自の「利活用計画」が必要だと思ふが。

問③ もっとも具体的な内容で示していただいて、次々と手を打っていかないと覚悟を

問③ もっとも具体的な内容で示していただいて、次々と手を打っていかないと覚悟を

答 町長 只見線利活用計画を策定するに当たり、既に取り組んでいる只見

計画である町振興計画があり、その具体的な取り組みの計画である「実施計画」については、毎年見直

問③ もっとも具体的な内容で示していただいて、次々と手を打っていかないと覚悟を

問③ もっとも具体的な内容で示していただいて、次々と手を打っていかないと覚悟を

既に取り組んでいる只見

計画である町振興計画があり、その具体的な取り組みの計画である「実施計画」については、毎年見直

問③ もっとも具体的な内容で示していただいて、次々と手を打っていかないと覚悟を

問③ もっとも具体的な内容で示していただいて、次々と手を打っていかないと覚悟を



## 高橋信彦議員の 一般質問



# 『災害発生時の携帯電話の利用について』

## 町発信のエリアメールを活用する

**問** 全国で大規模な災害が増加する中、現状では自然災害を防ぐ事は困難であり、防ぐ事よりの様に対応するかが重要であると考えます。災害発生の際や避難指示等、町民に周知徹底する為には、防災無線に加え、携帯電話による情報提供が最も有効であると考えます。携帯電話の有効活用を伺います。

**答 町長** 金山町内での避難準備情報や避難指示などを携帯電話会社のエリアメールを利用して配信する方法があります。

町では平成25年に、携帯電話会社3社と緊急速報メールの契約を締結し、その準備はできていますが、災害時にその活用を図った実績はありません。今後は、防災訓練などにおいて、町発信のエリアメールの運用を試し、非常時にも活用

を図りたいと考えています。

**問** 被災状況の把握にはドローンを活用する事により、早く正確に全体像を把握出来ると考えます。ドローンの初期投資は僅か数十万円であり、大きな成果が期待できます。ドローンの導入の考えを伺います。

**答 町長** 日進月歩進歩しているわけですから、そういうものも活用しながら

ら災害の実態を把握するのは必要だと思います。今聞くとところによると、金額もばかに高くもないし、これは十分導入する価値があるのではないかと思います。

**問** 多少の風が吹いても今のドローンは大丈夫だと。以前のヘリコプター型は非常に操縦が難しく安定しない。そのためにいい映像が撮れないという問題もあったようだが、今の

**答 総務課長** 費用対効果も含め対応できる場合は検討したいと思っています。

**問** 対応できる場合じゃなくて、対応してください。これは、お願いします。



10月6日深夜に送られた地震発生注意のエリアメール

# 『町内観光資源の活用について』

## 滞在時間の延長を図りたい

**問** JR只見線の鉄路復旧が決定しました。四年後の再開通にむけて、どのような対策をされるのか、又会津川口駅に降りてもらう

**答 町長** 只見線の再開を考えているか伺います。

通を見据えて、沿線自治体や関係団体との連携を深め、只見線の魅力向上を図るとともに、町内外の皆様のさらなる利用促進につながる事業やPR活動を実施して行きたいと考えています。観光客に会津川口駅で降りてもらい、町観

光につなげるための施策については、今年度、会津川口駅前の再整備に着手したところであり、JR只見線利用者の利便性向上が図られます。今後、観光事業の活性化につなげるためには、会津川口駅ほか町内の各主要駅周辺の観

光地を周遊するプランを作成するなど、観光客の滞在時間の延長を図る仕組みをつくる必要があると考えています。



福沢地区での「町づくり懇談会」

## 横田正敏議員の 一般質問



# 『住民とともに歩む町政を』

## 町民の話を積極的に聞きます

**問** 住民との対話の中で耳にするのが、『どうせなるようにしかなんねーべー』というあきらめムード、『あれこれ言ってみたって仕方ねえ』という失望感、『計画した事をやらないからダメだわ』という不信感、このような町民の思いや考え方、端的に言うなら町政に対して関心が薄い

ということであり、それが、大事な町づくり懇談会に参加する町民が以外と少ない原因の一つになっているように考えますが、町長の考えを伺う。

**答** 町長 確かに、町民の皆さんが町政に対して関心が薄いということは肌で感じているところであります。町民参加型とよく

増えてきているというように手応えは感じています。そんなことを通しながら、とにかくここで我々が諦めちゃだめですから、町民に対してはこれからあるごとに呼びかけたいと思います。

**問** 町が決めたことを説明し、町民が聞き手でなく町と町民が一緒になってやるのが大事ではないか。

**答** 町長 町民の皆さんに対して、粘り強く、町づくりのことだとか、あるいは世間話でもいいですから、私も積極的に町民のところに赴きながら、話を聞きたいと思っています。そういう姿勢で取り組んでいるつもりです。

# 『若者定住に関わる施策の具体化を』

## 着実に取組んでいます

**問①** 雇用の創出を実現させるためには、産業の6次化を大胆に進めるべきではないか。

**答** 町長 来年度農産物加工施設を整備し、町内農産物の6次化による農家所得の向上とあわせ、雇用の場の確保としての位置づけを図るなど、今後成果が上げられるように着実に取り組んでいきます。

**問②** 結婚祝金・出産祝金など簡単にできるお金の支給が実施されたが、課題解決のための本質的な事業の実施が重要ではないか。

**答** 町長 全くそのような感じはしています。若い女性がこの町に自信と誇りが持てれば、結婚祝金や出産祝金を目的としていないはずで、やはりこの町に住んで良かった、ここで子供を育てたいという気持ちです。それは自信と誇りだと思っています。

**問③** 6月定例会に述べられた「論汗の如し」を引用された意図は何か。

**答** 町長 「二度口から出れば取り消すことはできない」という意味であり、これを引用した意図ではありませんが、町が抱える重要な課題を解決するため、町民の理解を得ながら具体性を持った取り組みを強化し、粘り強く取り組む決意を常に脳裏の片隅に置きながら行動するため用いたところです。



# 『町づくり対策を問う』

出来ることから進めている

## 馬場清次議員の 一般質問



もっと多くの地元産出品を！  
道の駅 奥会津かねやま

**問** 町長は、産業の振興、交流人口の拡大等多くの構想を掲げ就任から3年が経過した。残任の期間で町づくりはどう取り組まれるのか。心配された只見線も全線復旧が決定。今後の町づくり対策が重要であり取り組みを伺う。

**問①** 豪雨災害地区の安全対策現状は。

**答** 町長 対策工事を土

倉地区で今年度着工しました。工事のための設計に

ついては、複数の地区で宅地かさ上げ設計、築堤設計

及び用地測量の詳細設計を実施しています。また、

詳細設計まで進んでいない複数地区には、住民に分

かりやすく説明するため検討設計を実施してい

ます。

**問②** 只見線4年後の再開

通に向けた取組みは。

**答** 町長 県と沿線自治

体が只見線利活用計画を今年末までに作成すべく、

只見線利活用の地域振興策を検討しています。また、

町独自の取組につきましては、毎年実施している町の振興計画の実施計画の

見直しの際に、新たな事業の検討や、只見線を活用する視点からの事業の再

構築を行いたいと考えています。4年後の再開通を見据えて今から取り組む

事業については、計画的に取り組みたいと考えています。

**問③** 観光対策、温泉・炭酸活用の町づくりは。

**答** 町長 町内の宿泊施設は観光客のニーズに

応できておらず、稼働率が低迷しているのが現状で

す。そのため町内の民間で運営する宿泊施設の活性化を図ることが重要と考

えています。奥会津振興センターでは現在の観光客のニーズを的確に捉えて

います。観光客のニーズに

応えられる宿泊施設が町内に増えるように、奥会津

振興センターと連携して支援していききたいと考えて

います。町内の天然炭酸水や天然炭酸温泉は全国的にも非常に珍しいもの

であり、金山町にしかない観光資源として地域振興の起爆剤にしたいと考えて

います。まず、天然炭酸水については、大塩の炭酸

水については、大塩の炭酸

場をさらに観光客に喜んで

いただけるよう整備をして行きたいと考えてい

ます。次に、天然炭酸温泉については、せせらぎ荘の大

黒湯をさらに町外にPRして、誘客に努めたいと考

えています。先日、源泉を掘削した八町温泉につい

ても、炭酸温泉としての泉質に期待しているところ

です。

**問④** 道の駅かねやま、

産品の開発等産業対策は。

**答** 町長 平成28年度の

実績を見ますと、販売農家数は54人で農産物の種類

は約100種類、総売上額は約560万円となつて

います。農産物加工品はエゴマ関連商品を8種類の

取り扱いで約160万円、赤カボチャ関連商品は13

種類の取り扱い、約270万円の売上額となつてい

ではありますが、現在売

れている農産物を増産することや、春先に収穫できる

農産物などについても模索して行きます。また、売

上額の高い月については、赤カボチャ以外の農産物の増産を目指し、底上げを

図っていききたいと考えています。

**問⑤** 住みよい町づくり、

国土調査の再開は。

**答** 町長 たびたび議員

の皆様から国土調査の実施についてご質問をいた

だいていただいております。必要性は十分に認識

していますが、町としてはJR只見線の再開通、

本名バイパス整備、八十里峠の開通等を見据えた

受け皿となる事業について最優先に取り組みな

ければならないと考えています。それらの事業がある程度方向性が見えてから検討を重ねて行きたい

と考えています。



「只見線応援バスツアー」の皆さんを手をふりながら見送る地元の人たち

## 奥高伸議員の 一般質問



# 『JR只見線復旧後に向けた町づくりは』

## 計画的に取組みたい

**問** 平成23年7月の豪雨災害によって不通となっていたJR只見線が復旧することとなった。復旧に当たっては「上下分離方式」という長期にわたって自治体が財政負担を強いられる課題を含んでいるものの地域の活性化の基盤となるものとして大きな期待が寄せられている。JR只見線の再開通を町

は今後の町づくりにどう生かすのか。

**答 町長** 町には国内でも珍しい天然炭酸水や天然炭酸温泉、沼沢湖、松坂峠のブナの原生林（癒しの森など、魅力あふれる観光資源がありますので、これらをどのように只見線と結びつけて活用していくかという受け皿づくりが課題であると考えています。また、只見線を目的

に來られる観光客に町内で消費していただく仕組みづくりも課題と考えています。受け皿づくりについては、今年度は川口駅前の再整備に着手したところですが、毎年実施している町振興計画実施計画の見直しの際に、新たな事業の検討や只見線を活用する視点から、事業の再構築を行いたいと考えています。今から取り組める事

業については、4年後の只見線再開通を見据えて、計画的に取り組みたいと考えています。

**問** 沿線住民の減少を考えば、交流人口の増加策、抜本的な利用拡大策が必要になる。

**答 町長** 4年後の再開通は、全国的な盛り上がりがあるものと私は思っています。只見線が国内外で大変注目を浴びていることも確かです。しかし、この地域の取り組み次第で、一度は来てくれたお客さんが、果たして2度、3度とリピーターとなってくれるかどうかというものは、その地域地域の取り組み次第にかかっていると思います。私は、この只見線の関係については、その再開通に向けた取り組みが重要だと思っています。

## 『林業従事者の育成を』

## 専門家を活用したい

**問** 私は、「町の振興には、林業振興が欠かせない」と言ってきた。町もその必要性を認識され「森林整備はしっかりと計画を練っていく」と言う反面「私（町長）も職員も素人だ、林業に特化した人が2〜3人出て欲しい」と言われる。林業振興の重要性を認識され

ているのならば積極的に森林・林業従事者のプロを育成すべきだ。

**答 町長** 数々の会議等に出席する中で、やはり専門的な知識を有する民間の力を活用することが、より早い事業化に結びつくのではないかと判断しているところではあります。

**問** 全国には、林業大学など多くの林業指導者を育てる機関がある。福島県にも林業の担い手育成の多くの制度がある。

**答 町長** そういった専門の大学があるのであれば、そちらの先生に赴きながら話を聞いて、ゼミの生徒や先生の教え子たちに、この地元に来ていただいで、この町の課題を色々探ってもらうことも必要だと思います。検討したいと思っています。





台風21号の影響で放水する滝ダム



## 青柳ヨシ子議員の 一般質問

# 『大塩グラウンドゴルフ場について』

## 希望に添えるように検討していく

**問①** 運営をどこまでやるのか。整備だけなのか。どの様に運営されるのか。

**答 教育長** 今年度工事を完成させ、来年度、グラウンドゴルフ認定コースの承認を得て、供用を開始したいと考えています。整備から供用開始後の運営まで町が行う予定です。

**問②** 管理費の問題、来年度はどうするのか。

**答 教育長** 今年度工事は完成する予定ですが、来年度以降は芝等の管理が必要になってきます。管理費を来年度予算案に計上し、管理して行きたいと考えています。また、認定コースの認定料についても来年度の予算に計上して行きたいと思っています。

**問③** グラウンドゴルフ

協会を立ち上げる気はないのか。

**答 教育長** グラウンドゴルフコースが完成し、供用開始後の維持管理や、大会の誘致等を協議していく運営委員会等を設立していく必要があると思っています。現在、町体育協会にグラウンドゴルフ部がありますので、そのグラ

ウンドゴルフ部と今後について相談して行きたいと思っています。

**問④** 会津地方から人を集めグラウンドゴルフ大会をするのに「人を集めるのは簡単だけれど、運営する人が果たしているのか心配だ」という声を聞いています。そのあたりはどうでしょうか。

**答 教育次長** グラウンドゴルフ部だけでは大変ですので、町体育協会とも相談しながら、体育協会の役員、または教育委員会も踏まえて、その運営委員会の中で未永く使えるような維持管理をしながら、また、大会誘致をできるような方策を検討して行きたいと思っています。

# 『7月18日に起きた豪雨災害について』

## 操作規程に従った対応と考えている

**問** 「滝ダム」の操作は規定を守った適切なものであったか。

**答 町長** 7月18日の滝ダムについてのご質問ですが、豪雨の際にダムの水位が満水位を超えたことを指摘かと思っています。ダム操作規程上は、満水位を超えてはならないことになっていますが、ダム下流の急激な水位の上昇を抑

えるため、一気にゲートを上げることもできない規程になっています。今回は急激な雨でありましたので、上下流に影響のない範囲での操作規程に従った対応と考えています。ダムを管理する電源開発からは、この内容の顛末と河川管理者である国への報告も済んでいると報告を受けています。

**問** これまで何度も水害が起きて、金山町の住民はひどい目に遭っているわけです。町長、もう二度とこういうことがないように、ダム会社に対してきちんとした要求を出していくべきじゃないかと思いますが。

**答 町長** 23年の豪雨災害を二度と起こさないようにするために、今県が河

川整備計画の実施に向けて動いているわけです。電気事業者では、恒久的な堆砂の対策をやっています。そして、23年の豪雨災害には十分耐えられるという安全管理計画も示していただいていますので、それを踏まえながら、それに反したような場合は、町としては厳しく申し上げるつもりであります。

川整備計画の実施に向けて動いているわけです。電気事業者では、恒久的な堆砂の対策をやっています。そして、23年の豪雨災害には十分耐えられるという安全管理計画も示していただいていますので、それを踏まえながら、それに反したような場合は、町としては厳しく申し上げるつもりであります。

# 管外視察報告(要約)

## 産業建設常任委員会

7月10～12日実施

▶ IGRいわて銀河鉄道の菅原総務部長から、説明を受ける。(本社にて) 本社(青山駅併設)には旅行センターやレストラン・地元産の直売所も併設(下写真)



### IGRいわて銀河鉄道について

「IGRいわて銀河鉄道」は、第3セクター方式による国内初の鉄道会社であり、加盟する第3セクター協会40社の中で黒字8社に挙げられます。

平成14年12月開業、東北新幹線盛岡～八戸間の開業に伴い、JR東日本から経営分離された、東北本線の盛岡～目時(青森県との県境付近)間を引き継いで開業しました。資本金18億5千万、保有駅17、営業距離82km。各駅の1日の乗降客数は、15人から3100人で、輸送人員は1日当たり1万4千人。当初4億円あった累積赤字は、平成23年度に解消されました。

### 強固な経営基盤を確立

一般運営費とは別に、災害など突発的な支出に対応する為、岩手県を含め沿線自治体で「いわて銀河鉄道利用促進協議会」を立ち上げ、資金調達に充てました。平成23年度の黒字以降は、平成39年に予定されて

いる車両の更新費用13億5千万に合わせ、「いわて銀河鉄道経営安定化基金」を創設し、27年度より毎年1億円の積立をする等、時に応じた柔軟な組み立てにより、強固な経営基盤を確立しています。

### 利用客の動向調査

会社運営に於いては、利用客の動向調査から、①通勤、通学、通院が主な利用客である事②今後の高齢化率の上昇が確実である事③盛岡市の医療機関に通院する利用者が多い事④高齢者が一人でも安心して乗れる電車が求められている事。

以上の結果から、④の高齢者が一人でも安心して乗車出来る仕組みを新たに考え、

① 不慣れた高齢者が一人でも安心して乗れるようサポートするアテンダントの導入

② 盛岡駅から医療機関まで、タクシー料金200

円で行けるように協定、手配も電車内から

③ 17駅の多くに、無料駐車場を整備

④ 通院者への割引、「あんしん通院きつぷ」の発行

⑤ 急病人発生に備え、救急隊へ「引継書」による正確な情報伝達の実施

### あんしん通院きつぷ

以上の様な対策を講じた所、「あんしん通院きつぷ」の利用者は、平成20年度の1032人から、25年度は5164人となり、現在も同水準です。「鉄道本線の利用」だけでなく、「自宅を出てから帰宅まで、駅の前後を総合的にサポート」する事により、利便性を向上させています。更に、

旅行業、不動産業、飲食業と経営を多角化し、経営の安定化を目指していました。

### 金山町の活性化のために

「いわて銀河鉄道」の例を「JR只見線」にそのまま応用する事は出来ませんが、金山町の取るべき対策は、只見線全線に対する

サポートは勿論の事です。が、有人駅「会津川口駅」の利用者に対する対策が急務であると考えます。通院者、旅行者等の利便性を考慮し、最適な2次交通の構築、町内観光資源の再開発などを実施する事により、高齢者の外出促進や、交流人口の拡大等、町の活性化に寄与するものと考えます。取り組むべき課題は多く、「観光路線」として4年後の再開通に向けて、速やかな対策の実施と、柔軟な運用を町に求めます。



▶ 「地元愛」を熱く語っていた IGRの営業企画担当者



# 常任委員会

## 総務文教常任委員会

7月10～12日実施



◀玉梨豆腐茶屋にも来たことがある今野 事務局長（NPO法人くちない）の説明を聞く。地域の衰退を「自分たちで何とか食い止めたい」と活動されていた

### 「NPO法人くちない」の取り組みについて

「NPO法人くちない」は、岩手県北上市の東部に位置する、「口内地区」で活動しています。口内地区は、人口1565人、573世帯、高齢化率42・7%（平成28年）、75歳以上25%、面積31K<sup>m</sup>、水田440haの地区で、地形は、福島県の阿武隈高原と同じような所でした。

### 「困った」を解決

- ① バス停が遠くて病院にも何処にも行けない。時には町内の友達に会いたい
  - 解決…：自家用自動車有償旅客運送（有償ボランティア輸送）
  - ② 家の回りの草刈・雪かきができない
  - 解決…：生活支援（有償）
  - ③ 農協の店が無くなり、近くに店が欲しい。足が痛くて行かない。届けてくれないかな
  - 解決…：「店つくちない」を作った
- 「NPO法人くちない」で

### 「地域包括支援センター展勝地」の取り組みについて

「地域包括支援センター展勝地」は、北上市内の6地区を担当しています。その中には口内地区も含まれています。それぞれの地区での活動を紹介していただきます。

### 「あすの黒岩を築く会」

○黒岩産地直売所高齢自給的農家の継続支援、ふれあいデイサービスや団地への出張産直。一人暮らし高齢者宅への配達等。

### 「おたすけライフ更木」

○地域住民有志3人で組織化○暮らしの応援サービス移送サービス（病院、官公庁、銀行等への送迎）○買い物の支援等。

### 「歌声カフェ」

○サービスマン付高齢者向

で困っているのか、何ができるか）を取り。歳を重ねても住みやすいまちづくりを目指して頑張っておられる姿に感動しました。

### 「ふれあいデイサービス」

○北上市が社会福祉協議会に事業を委託○地域の自治公民館を活用○開催は月1回～2回程度（1回以上地域の自主開催）。



▲「地域包括支援センター展勝地」の職員から管内の説明を受ける。同席しているのは、運営母体の社会福祉法人「博愛会」の及川理事長と、北上市の長寿介護課包括支援係高橋さん。

### 「立花茶屋」

○野菜中心の産直販売  
○EM石鹼アクリルたわし等の販売○近所に住む高齢者が買い物に立ち寄ったり、お喋りにくる。

### 「お元氣会」

○立花地区生協団地に住む60～80代までの10～20名が参加○お茶飲み、出前講座、包丁研ぎ。外食、子供会との交流など。

### 「研修を活かしたい」

どこも高齢化で大変なことが良く分かりました。研修の成果を今後の金山町に活かしていきたいと思いました。



## 「秋に想う」

秋は、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、そして農家にとってはネコの手も借りたような忙しい秋、そして私たちの生活の中で最も忙しい季節です。ところで、今年も全国各地から何十年に一度の豪雨による災害・水害のニュースが報道されました。又、長雨による気温の低下に伴う農作物の不作等、農家にとって頭の痛い秋となったように思われます。それに追い討ちを掛けるかのように金山町では熊や猿、そして小動物の被害も近年目に余る様になってきました。農家の人たちが都会の友人や子供たち、そしてお孫さんに、ふるさとの農産物を送ろうと丹精こめて作付けされ収穫を楽しみにしていた、トウモロコシ、赤力ボチャ等々が一夜にして彼らの餌と消えてしまうのであります。町では、電気柵の補助金等で対応している訳ですが今のところ妙案がないのも事実です。金山町の特産品の赤力ボチャの収穫量も例年より少ないと聞きました。天候の不順等も原因かと思われませんが鳥獣の被害も考えられるのではないのでしょうか。

先日町外のホテルで食事をする機会がありました。その席上ホテルの支配人から「私たちも金山町応援隊だ」とありがたい言葉を頂いて来ました。そのホテルでは町特産の赤力ボチャの料理を一皿提供しているとの説明でした。金山町の赤力ボチャだったらいくらでも買い入れるとの事でした。席上農産物を売買し収益金を上げる事の大切さを熱く語っていらつしやいました。町内にも春の山菜から始まり夏には各個人で作付けされるトマトやキュウリ、ジャガイモ等があります。そして秋には高級きのこのマツタケにマイタケと町の宝がたくさんあります。私も、そういった特産品をお金に換える事にチャレンジしてみようと思った楽しい食事会でした。

さわやかな秋は、やがて来る厳しい冬に耐える準備をする季節でもあります。冬の訪れを前に体の準備、心の準備をしておきたいと思っています。

(五ノ井義一)

## 「ごっつおまつり」賑わう 台風の影響もなんのその

10月21～22日に、毎年恒例の「奥会津ごっつおまつり」が中川地区で開催されました。台風21号の影響で、天候には恵まれませんでした。大勢の来場者で賑わいました。22日夕方には、只見線復旧決定記念の「庄野真代スペシャルコンサート」が町民体育館で行なわれました。土砂降りの雨の中、多数の聴衆が訪れ聞き入っていました。



あいにくの雨となった日曜日のごっつおまつり

## ごあんない

次回の定例会は、12月8日ごろ開会の予定です。

一般質問は12月11日ごろとなります。

お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り  
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井清二

〔編集委員〕

委員長 馬場 清次

副委員長 黒川 廣志

委員 栗城康太郎

委員 青柳ヨシ子

委員 加藤 賢享

次回、金山議会日より

第200号は、2月中旬ごろ発行の予定です。